



2026年3月9日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役 CEO 松 尾 孝 之  
(コード番号：3840 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取 締 役 星 淳 行  
TEL：03-6823-6664 (代表)

## RMDC、韓国 MEDIPOST 社との業務提携基本合意に関するお知らせ

### (次世代自動培養ロボットによる FA 化および「フィジカル AI」実装に向けた共同開発並びに販売協力)

当社連結子会社である株式会社 RMDC（以下「RMDC」）は、本日開催の経営会議において、取締役の合議により、韓国のバイオテクノロジー企業である MEDIPOST Co., Ltd. (以下「メディポスト社」) との間で、次世代自動培養ロボットを用いた細胞製造の自動化（ファクトリー・オートメーション）、AI 実装による「フィジカル AI 自動培養ロボット」の共同開発、および販売協力に関する業務提携（以下「本提携」）を行うことについて決議し、基本合意書を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 業務提携の理由

RMDC は、再生医療および細胞培養分野において、高品質かつ効率的な培養を実現する「自動培養ロボット」の開発を兵庫 CPF<sup>注1</sup>内で推進しております。現在は CPF 内で試験運用を行っており、試験運用で生じた事象を踏まえて、ロボットの挙動、制御の最適化に向けた調整作業を実施しております。一方、メディポスト社は、世界初の他家由来幹細胞治療薬（CARTISTEM<sup>®</sup>）を実用化した韓国を代表するバイオ企業であり、幹細胞治療薬の研究開発・製造および臍帯血バンク事業において豊富な実績と高い技術力を有しております。

近年、再生医療製品の普及に伴い、細胞製造における「量産化」と「品質の安定化」が世界的な課題となっております。また、細胞製造の現場では、単なる機械的な自動化（FA）に留まらず、生物としての細胞の個体差や環境変化に即応できる高度な自律制御が求められています。本提携において、当社はまず現行の自動培養ロボットをメディポスト社の量産ラインに導入し、ファクトリーオートメーション（FA）を推進します。さらに、その運用過程で得られる高品質な製造データと熟練工の手技（匠の技）<sup>注2</sup>を AI に学習させることで、ロボットが物理的な作業を自律的に最適化する「フィジカル AI（身体性 AI）」の実装を目指します。

これにより、当社の培養ロボットは「自動化装置」から、経験を学習し進化する「フィジカル AI ロボット」へと変貌を遂げ、細胞産業における真の量産化ソリューションとなることを目的としております。

また、本提携を通じて、メディポスト社が当社の次世代自動培養ロボットの韓国市場における販売パートナーとなることで、海外市場における販路拡大を加速させてまいります。

注1 細胞培養加工施設

注2 幹細胞培養において、熟練培養士の繊細な手技と高度な判断力は、製品の品質維持と製造効率の最大化に直結する重要要素です。主要な技術として、まず顕微鏡観察による細胞形態の微細な変化の察知と、最適な継代タイミングの判定が挙げられます。また、ピペティング等の操作における物理的ストレスの精密な制御により、細胞損傷を最小化し、高い生存率を確保します。さらに、細胞ロットごとの特性に応じたプロトコルの微調整など、形式知が困難な暗黙知に基づくプロセス管理を実践しています。こうした熟練の技術により、再生医療用細胞の安定供給と高水準な品質管理体制が実装できるようになります。

## 2. 業務提携の内容等

### (1) 次世代自動培養ロボットによるファクトリー・オートメーション (FA) の共同開発

メディポスト社が製造する細胞製剤の量産化に向け、当社の「次世代自動培養ロボット」をメディポスト社の製造ラインに導入するための実証テスト (PoC) を開始いたします。メディポスト社が提供する細胞を用いた培養テストを通じて、大量培養に最適な自動化プロセスの構築およびロボットの改良・共同開発を行います。

### (2) 「フィジカル AI」実装に向けた共同開発

上記 FA 化のプロセスで蓄積される培養データおよび操作ログを基に、両社共同で AI アルゴリズムの開発を行います。細胞の状態 (画像データ等) とロボットの物理操作 (アームの動き、攪拌速度等) を AI で統合的に解析することで、熟練技術者の判断を再現できる「フィジカル AI」機能を当社ロボットに実装し、製品価値の飛躍的な向上を図ります。

### (3) 販売協力

メディポスト社が韓国市場等における当社製品 (次世代自動培養ロボット) の販売代理店となり、共同でマーケティングおよび販売活動を推進するための協議を進めます。FA 化およびフィジカル AI 化によって強化されたソリューションを武器に、韓国市場への迅速な参入とシェア獲得を目指します。

## 3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	MEDIPPOST Co., Ltd.			
(2) 所在地	21, Daewangpangyo-ro644, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea (韓国 京畿道 城南市 盆唐区 大王板橋路 644 番地 21)			
(3) 代表者の役職・氏名	Wonil Oh (オ・ウォンイル) , CEO and President			
(4) 事業内容	幹細胞治療薬 (CARTISTEM®等) の開発・製造・販売、臍帯血バンク事業 (CELLTREE)、CDMO 事業			
(5) 資本金	17,108,892,500 KRW (韓国ウォン)			
(6) 設立年月	2000年6月			
(7) 大株主及び持株比率*	SkyMedi Co.,Ltd.	21.42%		
	Marble 2022 Holdings Co., Ltd.	20.11%		
	Crescendo 3rd Diho Private Equity L.P.	2.06%		
	Yang, Yoon-sun	1.73%		
	Oh, Won-il	0.22%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はございません。		
	人的関係	該当事項はございません。		
	取引関係	該当事項はございません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び財政状態	決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
純資産		182,577百万ウォン	313,658百万ウォン	252,601百万ウォン

総 資 産	397,790 百万ウォン	449,393 百万ウォン	414,287 百万ウォン
1 株 当 たり 純 資 産	11,305 ウォン	15,414 ウォン	7,409 ウォン
売 上 高	64,201 百万ウォン	68,643 百万ウォン	70,657 百万ウォン
営 業 損 失	▲17,416 百万ウォン	▲25,131 百万ウォン	▲48,544 百万ウォン
当 期 純 損 益	2,106 百万ウォン	4,951 百万ウォン	▲63,378 百万ウォン
親会社株主に帰属する 当 期 純 損 益	3,069 百万ウォン	5,840 百万ウォン	▲62,525 百万ウォン
1 株 当 たり 当 期 損 益	190 ウォン	287 ウォン	▲1,834 ウォン
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

注 3 同社は普通株に加え、複数の種類株式を発行しております。上記持分率は、同社が KOSDAQ 市場で開示している 2024 年 12 月期有価証券報告書に記載されております「発行済株式総数 37,958,099 株」を基準に算出した、大株主が所有する普通株、優先株の持分率の合算です。

注 4 2026 年 3 月 9 日時点で 1 韓国ウォンは 0.106 円台です。

#### 4. 日 程

(1) 経 営 会 議 決 議 日	2026 年 3 月 9 日
(2) 基 本 合 意 書 締 結 日	2026 年 3 月 9 日
(3) 業 務 提 携 契 約 締 結 日	今後、詳細を協議の上決定いたします。

#### 5. 今後の見通し

本提携による製品力の強化および「フィジカル AI」の実装は、RMDC の中長期的な競争優位性を確立する重要なステップとなると考えております。なお、本提携が当期の業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上